

会 議 録

- 1 会 議 名 木更津市立公民館運営審議会第4回定例会
- 2 開 催 日 時 令和6年3月21日(木)14時00分～15時30分
- 3 開 催 場 所 木更津市立中央公民館 B館3階多目的ホール
- 4 出席者氏名【公民館運営審議会委員】16名

小出 京子 高木 厚行 石川 泰子 青木 健
市川 一成 実形 昭夫 平野 進 秋元 豊
小倉 博史 澤邊 賢司 鈴木 和幸 山下紀世美
石田 美恵子 山口 宗治 加山 恒夫 鶴岡 俊之

【公民館長】11名

水越 学 (中央公民館)
唐鎌 勲 (富来田公民館) 多賀 一也 (清見台公民館)
相場 明彦 (岩根公民館) 佐藤 千明 (鎌足公民館)
岡田 清治 (中郷公民館) 河野 勝 (波岡公民館)
星野 隆弘 (富岡公民館) 渡邊 祐二 (桜井公民館)事務局
小倉 敏幸 (文京公民館) 石井 一彦 (八幡台公民館)
鈴木 加津也 (畑沢公民館)

【事務局職員】3名

温井 誠也 (中央公民館主任主事)
進藤 颯 (中央公民館事務員)
宮城三津子 (中央公民館社会教育指導員)

【市民課金田出張所】1名

石田 美鈴(金田出張所長)

- 5 議題及び公開又は非公開の別 公開
令和5年度公民館事業及び市公連各委員会の活動報告
今後の公民館について 意見・情報交換
- 6 傍聴人の数 0人

7 会議概要 以下のとおり

事務局より、審議委員定数20名のところ16名の2分の1以上の出席で、第4回定例会が成立したことを宣言した後、青木委員長に挨拶を頂き、その後は、青木委員長に議長をお願いし、第4回定例会を進める。

●議事 令和5年度公民館事業報告及び木更津市公民館連絡会における委員会活動について

水越館長より各公民館事業の報告をまとめて行う。

年度当初に掲げた重点目標1「公民館利用者の拡大」各公民館の連携した「てくてく木更津わくわく散歩」などの事業を開催し、公民館の新たな視点からのアプローチの継続、目標2「地域自治の活動支援」では、まちづくり協議会や住民会議との連携、地域それぞれの状況に合わせた文化祭などを開催する。目標3「デジタル社会への対応支援」では、広報デジタル委員会全体事業の他、各公民館単位でよりきめ細かな対応を行くべく「スマートフォン講座」の開催を行った。また公民館の各ブロックでは、ブロックごとに特徴ある事業を展開し、公民館間での協力を前提とした事業展開を行った旨報告する。

その後、多賀館長より「公民館連携事業委員会」の「里山アドベンチャー」「てくてく木更津わくわく散歩」の実施報告。なお、次年度は概ね目標を達成したため「てくてく木更津わくわく散歩」については、委員会での実施はしない旨説明する。

続いて竹内館長より「広報デジタル委員会」の活動報告を受ける。「スマートフォン講座」や情報リテラシーなどデジタル社会に対応した技術や知識を学ぶ機会を提供した旨報告をする。

続いて議事ではないが、関連事業を金田出張所で事業を行っているので、石田金田出張所長より事業の説明を受ける。特に新たな移住民が増加しており幼児を抱える保護者の事業の充実や金田地域交流センターと連携した事業展開について報告を受ける。

委員会活動報告

社会教育委員会議

鶴岡副委員長が出席しており、特にコミュニティーセンター化へ向けて委員として感じるところや本日の意見を集約して会議に臨む旨説明を受ける。

その他、生涯学習推進協議会や図書館協議会は特に報告事項無

●意見交換会「今後の公民館」についての意見交換会

5分ほど休憩を取り、意見交換会を実施し、まだ今後の計画やスケジュールなど不明な点もあったが、以下のとおり意見を集約する。

主な意見集約

A変えて欲しくない事

A1事業関係

- 1 公民館の役割は、公民館の役割、利用価値をもっと周知する必要があるが、コミュニティーセンター機能も有しているので変える必要はない。
- 2 学校、地域の連携や防災機能
- 3 内容によっては再考も必要だが、主催事業の継続、特に長年培ってきた家庭教育、成人教育、青少年教育などその他、すべての事業が後退することがないように。

- 4 市職員による公平明快な運営や市長部局の業務と教育委員会の業務の相互の連携
- 5 公民館がこれまで地域と連携して培ってきた事業や地域と連携した地域活性化の活動

A2管理運営関係

- 1 公民館は市の行政機関として職員が柔軟に責任を持って運営して欲しい。
- 2 DX計画によるデジタル弱者の救済
- 3 地域情報などの有効活用する仕組み
- 4 市民ファーストのできる職員による施設の維持管理

B変更した方がよいところ

B1事業関係

- 1 様々な弱者による支援制度 交通弱者、子育て、生活困窮者など
- 2 今以上に地域や学校と連携し、身近な課題を抽出して解決していくような仕組み
- 3 災害時の救援活動の充実、医療体制など
- 4 気軽に立ち寄れるフリースペースの充実、各世代の関心が高い内容の事業運営し、多様な利用者を取り組む事業
- 5 今以上に高齢者も増えるので高齢者が安心できる居場所づくり
- 6 未来に持続可能な職員体制の確立

B2管理運営

- 1 ボランティアや民間活用を取り入れながら、基本的には直営が望ましい。
- 2 土日夜間の許認可の受付
- 3 予約開始日をもっと早くから受付して欲しい。
- 4 どなたでも公平に利用できるように無料化へ方向転換

C自由意見

- 1 コミセン化前にコミュニティセンターの概念がわからない。丁寧な説明が必要
- 2 公民館は、コミュニティセンター機能も有している。木更津市独自の公民館にして運用は可能では
- 3 教育関係の会議で様々な議論されているが、どのような内容なのか説明して頂きたい。
- 4 コミュニティセンター化の運営計画や老朽化した公民館施設建設計画も含めて、将来的にどのような施設になるのか、市民の身近な行政機関、学習活動の拠点、地域活動の拠点となるのか、計画を示して市民の意見を公募して頂きたい。